

授業力向上のためのヒントが満載な授業参観 ～授業を見合いましょう～

本日2校時に、5年4組の内田学級で、説明文の授業公開がありました。

この授業は、来週の田中先生の全校授業に向けた同学年研修の一環として行われたものですが、5年生だけでなく、多くの先生が参観しました。

今日の授業も授業改善へのヒントが満載でしたね。やはり、他の先生の授業を参観するのは大切です。若手に限らず、時間の許す限り、他の先生の授業を見ていきましょう。同学年を中心として、どんどん授業を見合って欲しいものです。

内田先生は、普段から、何気なく言っておられる言葉がけが大変素晴らしいです。

参観しないと真意は伝わらないとは思いますが、少し紹介します。

「同じ事でいいから、自分の言葉で言ってみて」「あなたの言い方でいいから」

※これは、内田先生の言葉がけの中でいつも感心する言葉です。社会科でも、道徳でもこの言葉によって、児童は安心して発言しています。そして、同じように言っても、実は内容が少し違っていたりして、内田先生はそれを引き出して次につなげています。

・「考えるときは、教科書を大切にしてくださいね。」

・「○○さんが教科書をめくっています。そういうのが大切なんよ。」

※児童に伝えて、すかさずそれを実行している姿を見つけて褒めるすばらしさ。

・「いいねえ。みんなの方を向いている。」

※その後続く発表者も真似ていた。

今日の授業では、言葉がけ以外にも非常に大切な要素がいくつもありましたが、私が若手の先生方にもいつも言っていることについて、改めて触れたいと思います。

内田先生は、学習課題について、まず、ワークシートを使って一人で学ばせ、続いて、5分間の共学び（交流）をさせました。

その後、全体授業という基本の流れに沿った構成でしたが、多くの場合、全体授業では、共学びをしたことを挙手によって発表させますね。この挙手による発表から始めるのはだめだと私は常に伝えています。

内田先生は、5分間の机間指導の間に、児童の思考の傾向を見取り、最初に少数意見のAさんを**意図的に指名**しました。それにより、その後、素晴らしい意見の応酬になりましたね。Aさんもさらに反論して、一層深まりました。Aさんが孤立したり追い詰められたりしない内田先生言葉がけもさすがでした。他の児童も、そのような目では誰も見ていませんでした。普段の学級経営のたまものです。

「机間指導」は、教師はその後の授業構成に向けて頭を駆使する非常に大切な時間です。挙手による偶然指名は、授業は深まらず、時間の浪費にもつながります。自主性と挙手や発表は少し違うと思います。挙手をしないことがよく問題になりますが、挙手しなくても、一人学びをさせて、意図的に指名したらいいのです。気の弱い子には、机間指導中に指名することを伝えておくなどの配慮があればなおいいですね。

授業では、学習課題の提示の前にも、前時の学習の振り返りの文言や授業中の児童の発言も活用されていました。授業中、常に先を見通しながら、児童の活動を見取っていくことは、授業づくりには非常に大切であることを、今日改めて感じました。

若い先生方、どんどん他の授業を見ていきましょう。もちろん、見るだけではなく、見られることも大切です。

「授業を見合う」これが、「教員の授業力向上→児童の学力向上」の一丁目一番地です。内田先生お疲れ様でした。